

圧力計測のグローバルスタンダード

11月1日 計量記念日



長野計器グループは、計量法に基づく
圧力の国際MRA認定事業者です。

長野計器グループは、国際相互承認 MRA/JCSS認定事業者として、計量・計測の根幹である圧力の標準を、幅広い業界のお客様へ提供しています。JCSS校正事業に気体差圧5Pa以上200kPa以下も加わり、「環境・保安・安全・省エネ」など信頼性が求められる差圧計測にも対応してまいります。

長野計器株式会社 品質保証部 (JCSS0080) ・ 株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター (JCSS0143) ・ 株式会社双葉測器製作所 校正室 (JCSS0094)は、認定基準として ISO/IEC17025 (JIS Q 17025) を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

JCSS JCSS 0080 **長野計器**
本社 / 〒143-8544 東京都大田区東馬込1-30-4
TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320
http://www.naganokeiki.co.jp/

JCSS JCSS 0143 **ナガノ計装**
本社 / 東京営業所
〒143-0022 東京都大田区東馬込1-30-4 (長野計器ビル)
TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238
http://www.nagano-keiso.co.jp

JCSS JCSS 0094 **双葉測器製作所**
本社 / 〒116-0012 東京都荒川区東尾花8-21-14
TEL 03-3894-6848 FAX 03-3800-8155
http://www.futabass.co.jp/

計測器の校正は信頼と実績のJQAにお任せください

✓一括校正 ✓出張校正 ✓各種セミナー (出前可) ✓計測器管理サービス 対応

【校正品目の一例】 その他多数 詳細はWebへ

長さ標準器	マスタゲージ	長さ精密測定機	工場測定工具 直尺・巻尺	マイクロスケール	角度測定器	温度/湿度測定器
濃度計	電子計測器	放射線測定器	EMC試験用計測器	濃度計	質量計	力計
トルク計測器	力/硬さ試験機	圧力計	密度計	体積計	風速計	流量計
騒音計	振動計	回転粘度計	マイクロホン	形状測定・環境計測器の検定		

JQA 日本品質保証機構 【お問い合わせ先】 計量計測センター 営業課 〒192-0364 東京都八王子市南大沢4-4-4 TEL:042-679-0144

国家基準の校正力で 確かな測定をサポート

JCSS JCSS 0092

弊社JCSS校正サービスの対象
直尺・鋼製巻尺・ノギス・外側マイクロメーター (2mまで)

シノワ測定株式会社
熱物流センター/〒959-1276 新潟県燕市小池3481
●営業部 TEL.0256-63-8130(代) FAX.0256-63-8132
●ホームページ www.shinwasokutei.co.jp

Your Torque Partner
JCSS 校正証明書付デジタルトルクレンチテスタ、デジタルトルクレンチを販売中。また、既製品のJCSS校正も承ります。 JCS0281

常用参照用トルクレンチを用いたデジタルトルクレンチテスタ DOTE4のJCSS校正例
DOTE4を用いたデジタルトルクレンチCEM3のJCSS校正例

Your Torque Partner ●TDHNIHI 株式会社 東日製作所
本社 / 〒143-0016 東京都大田区大森北2-2-12 TEL:03-3762-2452 https://www.tohnichi.co.jp/

11月1日は計量記念日

制度の重要性アピール
きょう都内で全国大会開催

「計量記念日」は現行の計量法が施行された1993年11月1日にちなみ、経済産業省が制定した記念日。併せて11月を計量強化月間とし、全国各地で計量制度の啓発活動などが実施される。計量の基準を定め、適正な実施を確保する計量制度は通貨制度とともに経済活動、社会生活を成り立たせる最重要基盤。計量記念日を機に、計量制度の意義、重要性について認識を深めよう。

計量とは長さ、質で正確な物差しを量普及広報誌「計量の真、時間や体積、面積、重さ、温度、湿度、濃度、配布など」が完成・配布された。今年11月1日の計量記念日は都内の会場から、組立立ての「計量記念日全国大会」が開催される。今年からは東京都港区のホテルニューオータニ、東京ベイ、13時からの開催。経産省主催の計量記念日。式典に続き、記念行事。低学年部門から優秀賞として選ばれたのは、いろいろなすなでだいじつけん、んはやくみすとおすかな?」を発表した磯部芳太朗さん(神奈川県、小1)、「空気の力でめんぼうを飛ばそう?」を発表した平柳遥太さん(宮城県、小4)。「高学年部門?」を発表した山本小(同、小1)の兄弟門からは「朝と夕方で、幸運さん(大阪府、小4)だ。



小学生を対象に、計量への理解向上と理科教育推進を目的とした「何でもはかってみよう」(S・I)」の中で、た国際キログラム原器学温度(ケルビン)や熱力学量(モル)もそれ

基本単位の定義改定
国際的な単位の世界で国際度量衡局 (BIPM) に保管されている流(アンペア)や熱力学量(モル)もそれ

長野計器は圧力計や圧力センサー、温度計などの計測機器の開発、製造、販売を手がけている。品質保証部門は1998年、圧力部門で最初のJCSS認定事業者となった。「重錘型圧力天びん」「デジタル圧力計」「機械式圧力計」の3種類でJCSS校正業務を担う。同社のJCSS校正事業者の校正範囲に差圧校正が加わり、気体差圧5Pa以上200kPa以下の校正が可能。それ以外のJCSS校正範囲は絶対圧力10kPa以上350kPa以下、ゲージ圧力(負の気体圧)が30kPa以下、絶対圧力(正の液体圧)が1kPa以上500kPa以下。

東日製作所
計量法校正事業者登録制度 (JCSS) 校正はISO17025に準拠したと認められる校正機関で校正を行い、国家標準とトレーサビリティが取れた、不確かさのある測定値として承認された校正。東日製作所はJCSS校正の認定事業者。同社のトルク標準室はトルク階層構造では2011年11月に第2階層 (トルクレンチテスタ) がJCSSに登録され、18年3月までに参照用トルクレンチと手動式トルクツールも登録を行い、国内トルク機器校正事業者として初めてすべての階層に登録した。現在、JCSS校正証明書付きデジタルトルクレンチテスタDOTE4やデジタルトルクレンチCEM3の販売と、既製品のJCSS校正を行う。

大手技研
大手技研は米フルック・キャリブレーションのハイエンド圧力攻撃機器事業の代理店。同社の重錘型圧力天びん、油圧型圧力コンローラーなどの輸入販売からメンテナンス、校正サービスまでを行っている。校正部門は圧力分野の特定、次標準器を持つ第2階層のJCSS登録認定事業者であり、多国間で相互認証する国際MRAに対応。校正専用の優れた設備とISO/IEC17025に基つき、メーカー問わず国内内外の圧力計測機器の構成を委託できるのが特徴。さらに質量・温度分野のJCSS登録認定事業者でもあることから、重錘型圧力天びんに必要な圧力、質量、温度の3分野の校正をワンストップで受託できる。

長野計器
長野計器は圧力計や圧力センサー、温度計などの計測機器の開発、製造、販売を手がけている。品質保証部門は1998年、圧力部門で最初のJCSS認定事業者となった。「重錘型圧力天びん」「デジタル圧力計」「機械式圧力計」の3種類でJCSS校正業務を担う。同社のJCSS校正事業者の校正範囲に差圧校正が加わり、気体差圧5Pa以上200kPa以下の校正が可能。それ以外のJCSS校正範囲は絶対圧力10kPa以上350kPa以下、ゲージ圧力(負の気体圧)が30kPa以下、絶対圧力(正の液体圧)が1kPa以上500kPa以下。

Sureであること

当社は認定基準として JIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。当社は国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS 0188は当標準室の認定番号です。

校正は当社にお任せ下さい
【長さ】 マイクロメーター、ブロックゲージ (比較測定法による)
【電気(直流・低周波)】 直流電流発生装置、交流電圧発生装置、直流電流測定装置、交流電圧測定装置、直流抵抗発生装置、交流電流発生装置、直流電圧発生装置、直流抵抗測定装置、交流電流測定装置

電子計測器・度量衡の校正
株式会社宝栄
栃木県宇都宮市宝本町1192-27
TEL.028-665-4494 FAX.028-665-4495
キャリブレーションセンター
栃木県宇都宮市石部町140-3
TEL.028-678-5445 FAX.028-665-5667

万能測長機 [ULM600]

http://www.houei.jp E-mail info@houei.jp

有力企業の製品・技術へ順不同

それぞれの基礎物理定数を基準にした定義に改定されている。これまでよりもより微小な計量定数であるプランク定数が質量の測定基準に定められた。同時に電体産業など、より微細な測定を必要とする産業界に大きな影響を与えたとみられる。

液体水素 (-253℃) に用いる極低温用標準白金抵抗温度計 NSR-13K-1000

2017超モノづくり部品大賞「環境関連部品賞」受賞
※温度係数1.3851のPt1000Qも製作可能です。

NETSUSHIN P tセンサーのトップメーカー
http://www.netsushin.co.jp/

The Origin Of All Engineering

原点・技術

原点が世界の誇る白金抵抗素子 (Ptセンサー) は、高速/高精度/そして限りなく「点」に近い温度計測を実現します。集積回路製造というマイクロの技術から、低温~高温までの幅広い温度領域の計測技術まで、今やあらゆる先端技術に高精度な温度計測は欠かせません。まさに現代文明を支える「原点技術」、それがNETSUSHINの [Ptセンサー] です。